

長谷川 良果 議員  
日本維新の会 三田



橋本 維文 議員  
市民とともに



関口 正人 議員  
さんだの未来



大西 憲司 議員  
市民とともに



**移住定住** 若者や女性に選ばれる  
三田へ

**議員** 若者や女性の転出超過が続く中、市が将来にわたり持続的に発展するためには、住み続けたい、移り住みたいと思える暮らしの魅力向上と働く場の両立が不可欠であるが、移住定住の施策について、市の見解を伺う。

**「住む」と「働く」が実現できる環境をつくる**

**市** 6つの無料化等の子育て支援の充実や住宅取得費補助における市内企業就業者への加算など「住む」と「働く」が実現できる環境づくりを進める。また、自己実現プログラムを通じ、まちへの愛着育成や地域と関わる機会の創出を図るとともに、起業や就業に向けた若者の育成・支援に取り組む。(田村市長)

**他の質問** 三田市の今後の産業振興について 他

**地域活動支援** 公園管理報奨金制度の  
拡充を

**議員** 地域活動団体が公園管理を担う公園管理報奨金制度は、地域への愛着を高め、業務委託より低廉に実施できる仕組みであるが、多くの団体が物価高騰や担い手不足により活動継続が難しくなっている。報奨金単価の見直しなど、制度の拡充ができないか。

**報奨金単価の見直し等を検討する**

**市** 地域活動団体のモチベーションを維持し、未協定の公園や緑地への活動意欲を高めるため、報奨金単価の見直しを進めていく。また、公園周辺の敷地外清掃への助成や公園面積区分についても、ヒアリングを行いながら段階的に見直しを検討する。(高寺都市整備部長)

**他の質問** 市職員の人材確保について 他

**市民病院** 市民病院の跡地利用の  
再公募は

**議員** 市民病院の跡地利用の応募がなかったが、要因をどのように考えているか。最低売却額20億2,000万円を見直す考えはあるか。また、課題をいつまでに整理し、再度公募を行う時期はどのように想定しているか。

**令和8年4月下旬を目途に再公募したい**

**市** 応募がなかった主な要因は、単独応募が難しく応募期間が短かったこと、最低売却額の高さや事業着手までの期間の長さなどであると考えられる。最低売却額の見直しは、課題の一つとして検討する。また、事業者向け説明会を開催の上、令和8年4月下旬を目途に再公募したい。(田村市長)

**他の質問** 地産地消の拡大について 他

**子育て支援** 育児休業期間の保育施設  
在園継続条件の緩和を

**議員** 少子高齢化に伴って保育施設にも少しずつ空きが発生していく状況であるため、保育施設の在園継続条件の制限を緩和し、育児休業期間などのさまざまな状況下であっても保護者が自由な選択ができるよう、在園継続を可能にすべきと考えるが、市の見解を伺う。

**令和8年9月の募集開始に向け、検討を進める**

**市** 現在の社会情勢は認識しており、制度の見直しは必要と考えている。待機児童の状況を見定め、市内施設運営事業者の意見を伺いながら検討を進める。(田村市長)  
早ければ令和9年度入所の募集開始時期である令和8年9月に向けて検討を進める。(松本子ども・未来部長)

**他の質問** クマの目撃情報への対応について 他

中田 哲 議員  
さんだの未来



長尾 明憲 議員  
日本共産党三田市議団



**産業・雇用** 第三テクノパーク構想で  
産業誘致、雇用創出を

**議員** 若者世帯の流入には安定した雇用創出が不可欠であり、近年の物流・生産・研究拠点の国内立地需要の高まりから、第三テクノパーク構想においては、交通結節点としての優位性や大学近接の強みを生かし、重点産業分野の設定や産学連携の視点を戦略的に盛り込むべきでは。

**再点検と研究を進める**

**市** 事業化推進は当面保留であるが、産業団地の整備は、産業振興及び経済活性化により雇用創出も期待できるため、整備手法や候補地等も含め再点検し、企業誘致における産学連携や研究機関の整備の方向性についても研究を進める。(辻下産業振興部長)

**他の質問** 教育の課題について 他

**幼稚園  
民営化** 公立幼稚園の民営化  
検討方針は撤回を

**議員** 三田市未来への財政ロードマップ(案)において、公立幼稚園を民営化する検討方針が出されたが、セーフティネットの役割など公立幼稚園でなければ果たせない役割がある。これまでも政策保育の支援はあったが十分ではなく、民営化検討方針は撤回すべきでは。

**民間運営も選択肢の一つとして検討する**

**市** 認定こども園への移行には担い手の確保が大きな課題となる。市内には学校法人等の民間が運営する認定こども園が10施設あり、支援や配慮が必要な子どもの受け入れも行っている。地域や保護者等の意見を聞きながら民間運営も選択肢の一つとして検討する。(田村市長)

**他の質問** 学校再編問題について 他

# 市民との意見交換会について ～変更のお知らせ～



議会改革推進会議で、市民との意見交換について検証を重ね、いくつかの変更を決定いたしましたので、お知らせします。

**1) 議会報告会の開催時期変更について**

令和8年度については、これまでの4月から7月に時期を移し、開催する予定です。  
三田市議会だより「つなぐ」6月号やホームページなどで詳細をお知らせします。

**2) 「伺います!さんだ未来トーク」の申込受付休止について**

事業内容について再度検証するため、令和7年12月より申込受付を一時休止しています。再開時期はホームページでお知らせする予定です。

**3) 市政相談の廃止について**

平成27年より三田市議会は市政相談を行ってまいりましたが、近年、申込が非常に低調であり、また、直接市議会議員に相談されている状況等を勘案し検討を重ねた結果、令和7年11月をもちまして終了させていただくことになりました。

これからも皆さんにより市議会を身近に感じていただくため、よりよい意見交換のあり方を検証してまいりますので、よろしくお願いいたします。